

## 事業報告書様式

- 1 様式1  
(施設概要、指定管理者概要)
- 2 様式2  
(管理運営体制(事業計画書様式2)の報告、利用促進・市民協働等(事業計画書様式3)の報告、維持管理(事業計画書様式4)の報告)
- 3 様式3  
(令和5年度文化・自然体験施設利用状況(園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入))
- 4 様式4  
(令和5年度修繕実績)
- 5 様式5  
(令和5年度増減備品一覧)
- 6 様式6  
(苦情要望対応報告、事件・事故・災害対応報告)
- 7 様式7  
(利用者アンケート結果)
- 8 様式8  
(研修実施報告)
- 9 様式9  
(無料事業実施報告一覧(自主事業含む)、有料事業実施報告一覧(自主事業含む))
- 10 様式10  
(業務の第三者委託実績)
- 11 様式11  
(収支報告書(指定管理事業のみ))
- 12 様式12  
(運営目標・実績報告)

(事業報告書様式1)

## 1 施設概要

文化・自然体験施設名	舞岡公園 小谷戸の里
所在地	横浜市戸塚区舞岡町 1764
公園面積、公園種別	285.000 m <sup>2</sup> (指定管理面積 : 64.430 m <sup>2</sup> ) 広域公園
主な施設	水田、雑木林、池、畑、古民家 (旧金子家住宅主屋) 等
特徴	舞岡公園は、横浜市と市民団体の協働により、30年以上にわたり培われてきた豊かな自然と昔ながらの谷戸田や雑木林が残され、また、伝承文化の拠点となる古民家が移築されている。長年にわたる谷戸の生態系保全の結果として、横浜市内でも希少となった動植物が数多く生息する。 舞岡公園は「谷戸の原風景」と「古民家を利用した伝承農文化」と「里山の自然」が一体となった公園である。
公園開園日	平成4年12月15日

## 2 指定管理者概要

指定管理者名	特定非営利活動法人 舞岡・やとひと未来
代表者名	草間敏保
所在地	横浜市戸塚区南舞岡四丁目 38 番 13 号
指定管理期間	令和4年4月1日～令和9年3月31日
現指定管理者管理運営開始日	平成18年4月1日

(事業報告書様式2)

1 管理運営体制(事業計画書様式2)の報告

(1) 管理運営体制

令和5年度 人員体制表

<事務局>

職 種	役 割
事務局長 1名	責任者
副事務局長 2名	副責任者
運営スタッフ(常勤) 2名	運営管理 施設管理 維持管理
運営スタッフ(準常勤) 1名	運営管理 施設管理 維持管理
運営スタッフ(パート) 13名	運営管理 施設管理 維持管理

<現場スタッフ>

指導員 17名	現場コーディネーターとして事業遂行、安全指導を行う。田んぼ、雑木林、畑、農芸、生物環境、青少年育成のいずれかの部会に所属し、情報伝達や意見交換、意見調整、意思決定を行う
準指導員 15名	指導員と一緒に現場実務を行う
一芸 6名	指導員と一緒に現場実務を行う
アシスタント 33名	指導員の補佐

(2) 勤務体制

<事務局>

職 種		主な業務内容	
事務局長	1名	全体統括、予算管理	勤務日はローテーション
副事務局長	2名	法人業務、保険関連事務、人材管理	
パート (週3日)	5名 内2名時短	<ul style="list-style-type: none"> <li>・管理区域の巡視と清掃</li> <li>・施設の開館・清掃・施錠</li> <li>・季節の行事、イベントの企画・運営</li> <li>・古民家内外の設え</li> </ul>	
パート (週2日)	4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・経理事務</li> <li>・舞小谷戸屋(資源活用)の管理</li> <li>・広報「舞の里だより」編集・発行</li> <li>・ホームページの管理</li> </ul>	
パート (週1日)	4名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・登録ボランティア名簿管理</li> <li>・各種報告書・議事録作成</li> <li>・来園者対応</li> <li>・生物多様性維持管理</li> <li>・エリア、施設全般維持管理</li> <li>・ヒアリング、体験、研修対応</li> <li>・小学校の古民家見学、自然観察会対応</li> <li>・近隣自治会、学校との情報交換</li> </ul>	

## 2 利用促進・市民協働等（事業計画書様式3）の報告

- ・利用者ニーズの把握のため、来園者、ボランティア、イベント参加者それぞれを対象にアンケート形式による満足度調査を実施。意見や要望はその都度検討し、問題点は理事会等に諮り改善するなど維持管理運営全般に反映させた。
- ・事務所前に「ご意見箱」を、古民家・情報館・瓜久保の家にはアンケート用紙を設置し、すぐに改善できるものは急ぎ対応した。内部での検討を要するもの、南部公園緑地事務所への連絡を要するものは、それぞれ速やかに処置を行った。質問や対応策についての返書（ファイル）を3箇所に掲出し、一般に周知した。
- ・併用施設の設置目的の説明や、道案内標識、各ゾーンの名称や情報、生物に関するお願いや各種啓発ポスター等を掲示・表示した。
- ・車椅子利用者については舗装されていない園路と坂道が多いため、小谷戸の里まで車の進入許可証を発行するなど、可能な対応を行った。
- ・視覚、聴覚障害者に対して、ウェブアクセシビリティへの対応を進めた。ホームページで「舞の里だより」の使用するフォントをユニバーサルデザインに変更し、音声読み上げ用テキスト形式を掲載するなど、提供する情報や機能を支障なく利用できるよう改善した。

## 3 維持管理（事業計画書様式4）の報告

- ・古民家の燻蒸を月に5回以上行った。障子破れ等の簡易なものは日常的に補修し、土間のタタキ等は適宜補修した。建物の構造に汚損・破損が見つかった場合は南部公園緑地事務所に連絡し対応を協議した。
- ・納屋、情報館、水車小屋、瓜久保の家は、日常的巡視点検清掃を行い、展示物は季節や用途に合わせて更新を行った。
- ・「水車小屋」では、稼働時に事故防止のため担当者を複数配置（最低3人を厳守）し、来園者への説明と設備の点検・清掃・衛生管理を行った。活動は主に小学3年生の社会科見学を対象に行い、水車の力で玄米を精米していく様子を見てもらいながら説明した。
- ・管理棟は、来園者に対する総合案内的役割と市民の体験活動拠点として維持管理・活用を行った。開館時はスタッフが常駐し、電話や来園者の対応、ボランティア対応の拠点としてや、事務所及び会議室として活用した。毎日、建物内外の整理整頓・清掃及び機械警備設備の操作を行った。
- ・作業棟は、鋏・鎌・田んぼ足袋・安全靴・その他各種作業用具等の置場と、作業体験者の更衣ロッカーとして活用。刃物等は安全管理を徹底し作業用具はその都度洗浄して決められた場所に収納した。毎日、建物内外の整理整頓・清掃を行い、作業用具を点検し、修理、廃棄、補充を行った。
- ・炭焼き小屋使用時は現場にスタッフが常駐し、徹底した火気管理を行った。使用の都度整理整頓・清掃を行い、消火のダブルチェックを厳守した。
- ・多種多様な生物保全のため、農薬は使用せずに草取り、草刈りを行った。
- ・草刈り等の作業実施の際はプラス面、マイナス面の効果予測を行い、作業・活動の必要性・目的・効果を確認した。
- ・作業の活動前後を出来るだけ写真で記録し、経年変化の把握に努めた。
- ・貴重な植物を阻害する植物の除草は、事前にマイナス面も予測し、適宜実施した。
- ・竹林においては良好な状態を維持すべく主に3年以上の竹の中から、用途に応じ伐採した。

- ・豊かな生態系を育むため、林床の幼樹育成を図り、下草刈りを適宜実施した。
- ・動植物調査観察を年1回以上実施した。継続的に調査データを記録し維持管理に反映させた。
- ・貴重な植物は、誤って刈らないよう棒を立てる等の目印で対策し、移植に耐えるものは保護区域内に移植し保護に努めた。
- ・生態系維持のためのオーバーユース対策は、必要に応じてエリア閉鎖や部分開放を行った。
- ・施設利用者が安心して快適に利用できるように、常に併用施設内すべての整理整頓を心がけ、清掃を行った。
- ・日常点検作業記録表のチェックリストを作成し、実施の目安を「毎日」「週1回」「月〇回」と明記。常に状況が把握できるようにした。
- ・異常や破損箇所等には応急措置を施し、必要な補修などを速やかに実施した。
- ・維持管理作業記録簿を設け毎日記録し、改善や課題を関係者間で速やかに共有認識し対応できる体制を取った。また作業記録は翌年の維持管理に役立つよう、現場の生物の動きや変化を記録し、継続性のある維持管理を行った。

(事業報告書様式3)

令和5年度文化・自然体験施設利用状況 (園地や無料施設で利用者数を計測している場合は記入)

月別	文化・自然体験施設の利用人数	備考
4月	2,637	ボランティア活動、遠足、活動案内、古民家入館者等の総数
5月	5,807	同上
6月	2,764	同上
7月	2,307	同上
8月	1,260	同上
9月	2,353	同上
10月	6,248	同上
11月	8,149	同上
12月	2,149	同上
1月	3,044	同上
2月	3,326	同上
3月	1,719	同上
年間合計	41,763	

(事業報告書様式4)

令和5年度修繕実績 (※指定管理者が実施したもののみ記入)

修繕年月日	修繕箇所	金額(単位:円)	委託業者名または直営かの記載
9月	刈払い機修理	3,000	(有)戸塚農機
10月	用具補修用塗料他	2,484	ロイヤルホームセンター (購入)
12月	園路補修用碎石他	37,543	(有)坂間建材センター
12月～1月	脱穀機メンテナンス (3台)	115,280	久保機工株

1月	火災報知設備交換	19,140	永和防災㈱
3月	チェンソー修理	30,690	(有)戸塚農機
3月	外物品庫錠交換	7,648	楽天(購入)
合計		215,785	

## (事業報告書様式5)

令和5年度増減備品一覧(※指定管理者が購入・廃棄したもののみ記入)

品名	形状・その他	単価 (円)	購入		廃棄		増減理由
			数量	年月日	数量	年月日	
ウィルスソフト	ノートライセンス	21,078	1	R5年5月			
携帯スピーカー	アマゾン	13,770	3	R5年6月			
弥生会計ソフト	会計ソフト	59,290	1	R5年6月			
冷蔵庫	シャープ	97,726	1	R5年8月	1	R5年8月	故障、更新
マイクロソフト 365	アマゾン	14,456	1	R5年9月			
アルミ製堆肥枠	プラスワイズ	95,480	2	R5年11月			
二連梯子	アルミ製 7m	60,600	1	R6年1月	1	R6年1月	破損、更新
合計		362,400					

## (事業報告書様式6)

苦情要望対応報告

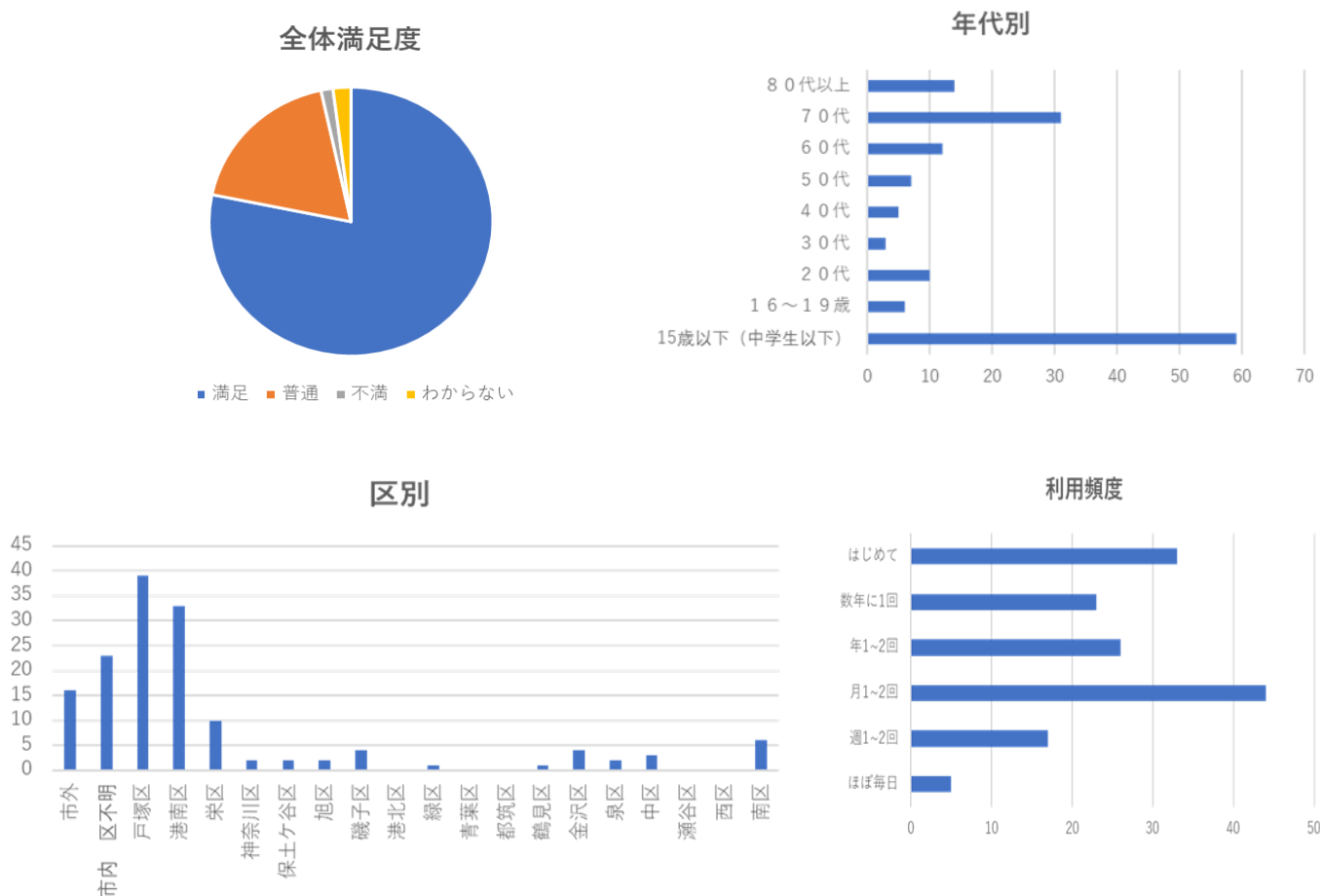
	年月日	内容	対応結果
1	4月24日	区民活動センター、及び個人から「ようこそ舞岡公園へ」冊子の入手方法問い合わせ	小谷戸の里事務所で販売していることを伝えた。
2	5月28日	みずき休憩所付近で、木に掛けたロープにぶら下がる男性を目撃した来園者が通報。	現地に確認しに行ったが、既に去った後だった。
3	10月23日、 11月22日	駐車場警備員の勤務態度が良くない。私語が多くだらけている。(2件)	「横浜市みどりの協会」が管理していることを伝えた。
4	2月24日	自転車で小谷戸に行けなくなるのは不便	通行可能箇所を改めて説明した。
5	3月14日	公園管理全体への各種疑問や苦情等	南部緑地事務所へ連絡。

## 事件・事故・災害対応報告

	年月日	内容及び被害	対応結果
1	令和5年 9月16日	9月15日夕方に公園駐車場付近に落雷。電話回線不通。(駐車場は停電)	NTT修理依頼。機械警備も使用不可となり、巡回対応。9/19に修理完了。電話線の地中ケーブル10本の内、使用可能なケーブルが最後の1本となった。
2	令和5年 9月22日	稲刈り体験イベント申込者へ当落メール返信の際、BCCで送信すべき所を、30人にCCで送信。	南部緑地事務所に報告し、指示を仰いだ。誤送信先へは電話とメールで謝罪し、送信文の削除を依頼した。BCC送信の際2人以上でダブルチェックを行うことを事務局員全体で再確認した。

(事業報告書様式7)

利用者アンケート結果



(事業報告書様式8)

研修実施報告

	実施日	研修名	内容及び効果
1	4月23日	夜の灯火観察会	夜間に白布に灯りを照らし、集まる虫を観察する
2	6月1日	公園樹木点検研修	樹木診断研修、公園施設点検マニュアル
3	6月13日	市フォローアップ研修	水生生物 (ヤゴ)
4	7月1日	環境省モトリング 1000 里地調査	哺乳類調査研修、センサーカメラ取扱い等
5	10月4日	市フォローアップ研修	水生生物 (ヤゴ)
6	10月30日	横浜市企業人権啓発講演会	今企業に求められる人権とは何か～外国人労働者の問題から考える～オンライン研修
7	2月10日	横浜市食品衛生協会 eラーニング	食品衛生責任者実務 (指定) 講習会
8	1月11日	落ち葉下の生き物観察会	落ち葉の下で越冬する生き物の観察 (内部研修)
9	1月16日	防災訓練	火災 発見・通報訓練
10	9月～3月	生態系保全実践講座	舞岡公園の生態系を維持するための保全管理について学ぶ講座。谷戸学校卒業生を対象に開講。

## (事業報告書様式9)

## 無料事業実施報告一覧 (自主事業含む)

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日
米作り体験	年間10枚以上の田んぼで手作業での米作りを行った。生物多様性に配慮し完全無農薬・有機栽培で行った。	5,837	各田んぼ年間11回以上
雑木林体験	維持管理で発生したクサギ・コナ等々の再利用。下草刈りや間伐・除伐・枝払い等。	704	週1回以上、年間50回以上
畑体験	年間10種類以上の作物を完全無農薬・有機栽培。収穫物はイベント等で利用した。	1,239	週1回以上、年間60回以上
谷戸学校説明会	谷戸学校の年間プログラムについて説明	25	4月2日
こども谷戸教室説明会	こども谷戸教室の年間プログラムについて説明	40	4月15日
親子自然教室	親子自然教室の年間プログラムについて説明	39	4月15日
自然学校やとひと未来	自然学校の年間プログラムについて説明	5	4月15日
炭焼き体験1~3	雑木林の間伐材を利用した炭焼き	186	4月~7月
鯉のぼり	古民家前庭と小谷戸広場に鯉のぼり設置	展示	4~5月
五月人形飾り	古民家座敷に五月人形を飾った	展示	4~5月
自然観察会	春の野山	23	4月23日
こども谷戸まつり	当日の売上と参加費の全額、義援金箱への寄付金の全額は、東日本大震災の義援金として「ふくしまこども寄付金」に寄付。寄付総額191,450円。	約500	5月5日
自然観察会	若葉の雑木林	24	5月28日
指標生物調査	ホタル	73	5~7月
田の草取り体験	田植え体験参加者から希望者が参加	20	6月18日
自然観察会	水辺の生きもの	20	6月26日
七夕飾り	古民家前庭に竹を設置、来園者が短冊を書き飾った	78	7月
里山の暮らし体験説明会	里山の暮らし体験参加者対象に実施	22	7月17日
案山子まつり	自然に還る素材を使い、案山子を手作りました	38体	7月22日~9月10日
自然観察会	盛夏の谷戸	11	7月23日
自然観察会	夏の里山	7	8月27日
自然観察会	谷戸を観る	6	9月24日
脱穀体験	稲刈体験参加者対象の脱穀作業体験を実施した	24	10月15日
案山子まつり人気投票	田んぼの案山子の人気投票を実施。田んぼを巡って投票する案山子を選ぶ案山子マップを作成した	1,462票	9月16日~10月15日
自然観察会	秋の実り	16	10月22日
まい作品展・秋	古民家前庭での青空作品展。作品テーマは舞岡公園	295	11月3日
自然観察会	生きものの冬支度	14	11月26日
障子張り	古民家の障子に和紙の障子紙を張り替えた	20	12月9日
自然観察会	野鳥観察入門	28	12月10日



こども書初め会	古民家の床の間に飾る書初めを書いた	27	1月5日
さいと焼き	正月飾りや書初め、若松のお焚き上げを実施	100	1月14日
ボランティア説明会	舞岡公園でのボランティア経験の無い方を対象に説明会を実施。座学と見学でわかりやすく説明した	41	1月20, 21, 3月16, 17日
自然観察会	冬の谷戸	12	1月28日
節分豆まき	辰年の年男・年女が古民家縁側から豆まきを行った	71	2月3日
自然学校説明会	R6 開講 自然学校説明会	7	3月23日
自然観察会	早春の里山	12	3月24日

## 有料事業実施報告一覧（自主事業含む）

事業名	事業内容・実施結果	参加人数	実施日	自主事業決算額	
				自主事業費(円)	自主事業収入(円)
親子自然教室	3～5歳児対象の田んぼ体験教室	411	通年	44,000	24,000
こども谷戸教室	小学1～3年	235	通年	53,000	18,000
谷戸学校	スタッフ養成講座	565	通年	148,000	16,000
花見茶屋	三色団子、甘酒を提供	202	4/2	14,000	31,800
わら細工～亀	わらで亀を製作した	3	4/16	4,000	1,500
茶摘み体験	茶の新芽を摘み、持ち帰った	82	5/3	10,000	39,500
茶摘みと手もみ茶作り体験	摘み取った葉を炒り、茶を作った	29	5/3		
こども谷戸まつり	餅、烏笛等。チャリティーイベント	500	5/5	64,000	103,930
田植え体験	早苗を公開田に植えた	98	5/28	42,000	20,900
夜間観察会	ホテル観察を中心に実施	10	6/10	4,000	4,100
夜間観察会	ホテル観察を中心に実施	13	6/24	4,000	3,900
谷戸肝だめし	夜の暗さを体感してもらう企画	26	7/15	17,000	9,900
竹細工～水鉄砲・けん玉	竹で水鉄砲等を作り遊んだ	32	7/23	3,000	13,300
里山の暮らし体験	古民家に一泊し竈での煮炊き等を体験	10	7/27,8	34,000	18,000
夜の里山生きもの探検	夜間に活動する生きものの観察	9	7/29	4,000	3,400
わら細工～わら草履	藁で1足の草履を編んだ	29	8/21	4,000	20,000
竹細工～花器作り	竹ひごで編んだ花器を製作	15	9/24	3,000	6,500
お月見会	搗きたて餅を食べながらお月見	39	9/29	19,000	15,000
稲刈り体験	田んぼで稲刈りを実施	114	10/1	37,000	23,700
わら細工～鍋敷き作り	藁で鍋敷きを作った	31	10/25	4,000	12,000
収穫祭	収穫の感謝を市民と分かち合った	1,200	11/23	237,000	480,000
竹細工～ミニ門松作り	30cm程の門松を1つ製作	29	12/9	3,000	14,400
わら細工～正月飾り	藁で縄を綯い正月飾りを製作	33	12/9	3,000	10,000
竹細工～ミニ門松作り	30cm程の門松を1つ製作	39	12/10	3,000	20,000

わら細工～正月飾り	藁で縄を編み正月飾りを製作	45	12/10	3,000	11,000
鏡餅作り体験	搗き立ての餅で鏡餅を作った	49	12/23	26,000	18,000
七草粥	公園で摘んだ七草で粥を炊いた	130	1/7	8,000	13,000
バードウォッチング 1	鳥を双眼鏡で観察	19	1/14	3,000	3,800
竹細工～和風作りと風揚げ	竹ひごを組み和風を製作	13	1/21	4,000	8,100
バードウォッチング 2	鳥を双眼鏡で観察	19	2/11	3,000	3,800
原木シイタケ植菌体験	間伐材に椎茸菌コマを打ち込んだ	90	2/18	6,000	18,500
竹細工～こまと竹トンボ	竹でこまと竹トンボを製作	6	2/25	3,000	2,000
バードウォッチング 3	鳥を双眼鏡で観察	19	3/10	3,000	3,400
竹細工～鳥笛・箬・しゃもじ	竹で笛と、箬かしゃもじを製作	30	3/24	3,000	9,500
ひな祭り茶屋	三色団子を提供	116	3/3	8,000	11,600
舞小谷戸屋	資源活用	—	通年	—	970,409
舞小谷戸屋	パンフレット	—	通年	—	56,700
ボランティア登録費		—	通年	—	1,014,250
寄付金		—		—	271,139
合計				242,000	2,585,698

## (事業報告書様式 10)

## 業務の第三者委託実績

業務	内容	委託会社	金額 (円)	年回数	実施月
警備委託	機械警備	(株) 国際連邦警備保障	1,056,660	通年	通年
浄化槽保守	浄化槽点検	ヴェリア・ジエッツ (株)	383,680	月 1 回	通年
廃棄物処分	廃棄物収集運搬	(株) 新和商会	25,190	1 回	3 月

## (事業報告書様式 11)

## 収支報告書 (指定管理事業のみ)

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
収入の部						
指定管理料	25,892,973	766,589	26,659,562	26,659,562	0	
利用料金収入	0	0	0	0	0	
自主事業収入	3,181,000	0	3,181,000	3,196,148	-15,148	参加費、小谷戸屋、登録費、寄附金等
雑入	0	0	0	0	0	
その他雑入	300	0	300	129	171	利息
収入合計 (a)	29,074,273	766,589	29,840,862	29,855,839	-14,977	

(単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額(D)	差引 (C-D)	説明
支出の部						
人件費	18,300,000	0	18,300,000	19,627,473	-1,327,473	
給与・賃金	17,000,000	0	17,000,000	18,329,968	-1,329,968	理事長、事務局員
社会保険料	820,000	0	820,000	795,075	24,925	
通勤手当	480,000	0	480,000	502,430	-22,430	事務局員
福利厚生費	0	0	0	0	0	
勤労者福祉共済掛金	0	0	0	0	0	
退職給付引当金繰入額	0	0	0	0	0	
事務費	2,862,640	0	2,862,640	3,142,030	-279,390	
旅費	20,000	0	20,000	15,160	4,840	
消耗品費	100,000	0	100,000	144,611	-44,611	事務用品、その他諸経費
会議賄い費	350,000	0	350,000	323,793	26,207	各会議交通費
印刷製本費	800,000	0	800,000	718,386	81,614	インク、コピー紙
通信運搬費	210,000	0	210,000	230,018	-20,018	切手、インターネット
使用料及び賃借料	50,000	0	50,000	94,824	-44,824	
(横浜市への支払い分)	0	0	0	0	0	
(その他)	50,000	0	50,000	94,824	-44,824	PCセキュリティライセンス料
備品購入費	80,000	0	80,000	267,576	-187,576	冷蔵庫庫、堆肥枠、二連梯子
保険料	733,640	0	733,640	767,310	-33,670	火災、賠償、傷害、行事用各保険
振込手数料	0	0	0	0	0	
リース料	88,000	0	88,000	87,252	748	AED,コピー機
手数料	61,000	0	61,000	38,115	22,885	銀行手数料、産廃手数料
その他事務費	370,000	0	370,000	454,985	-84,985	税理士報酬、監査報酬、スタッフ研修費
自主事業費	3,421,000	0	3,421,000	3,801,169	-380,169	田園体験関連
管理費	3,243,000	0	3,243,000	3,388,402	145,402	
光熱水費合計	40,000		40,000	31,297	8,703	
光熱水費(電気)	※横浜市負担					
光熱水費(ガス)	40,000		40,000	31,297	8,703	LPG
光熱水費(水道)	※横浜市負担					
光熱水費(下水道)	※横浜市負担					
清掃費	横浜市負担					
修繕費	100,000	0	100,000	215,785	-115,785	小破修繕費
機械警備費	2,744,000	0	2,744,000	2,748,660	-4,660	機械警備、巡回警備
公園及び公園施設設備保全費	359,000	0	359,000	392,660	-33,660	
施設(建物)・設備保守	359,000	0	359,000	392,660	-33,660	浄化槽保守、井戸水検査
園地管理費	0	0	0	0	0	
その他保全費	0	0	0	0	0	
公租公課	1,230,000	0	1,230,000	1,298,500	-68,500	
公租公課(事業所税)	0	0	0	0	0	
公租公課(消費税)	1,230,000	0	1,230,000	1,298,500	-68,500	
その他公租公課	0	0	0	0	0	
事務経費(本部分)	0	0	0	0	0	
雑費	17,633	0	17,633	0	17,633	予備費
支出合計(b)	29,074,273	0	29,074,273	31,257,574	-2,183,301	
差引(a-b)	0	766,580	766,589	1,401,735		

(参考) 指定管理事業外の収支

設置管理許可収入合計(c)	0	0	0	0	0
設置管理許可支出合計(d)	0	0	0	0	0
差引(c-d)	0	0	0	0	0

## 今年度の収支報告

## ①備品購入について

故障等に伴う更新により経費増となった。(冷蔵庫1台故障、二連梯子破損のため更新。)

## ②イベント再開で収入は増加したが、それに伴う人件費等の経費も増加した。

## (事業報告書様式 12)

運営目標・実績報告【自己評価 ◎：特筆すべき取組がある ○：達成している △：改善を要する】

項目	計画時の取組み内容及び具体的な数値目標	実績	自己評価 ◎○△	改善点等 今後の取組
業務運営1 (事業計画書様式2：達成目標、運営業務の実施方針、個別課題)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・10枚以上の田んぼで各田んぼ年間11回以上の無農薬・有機栽培・手作業での耕作を行う。</li> <li>・畑で、週1回以上、年間60回以上の無農薬、有機栽培・手作業での体験作業を行う。</li> <li>・雑木林での下草刈り、炭焼き、間伐等、年間50回以上。</li> <li>・定例自然観察会12回、バードウォッチング2回、夜の里山生きもの探検1回実施。</li> <li>・特定外来種防除15回以上。</li> <li>・親子自然教室、こども谷戸教室各年間10回。</li> <li>・人材育成講座「谷戸学校」年間44講座。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・田んぼでは年間636回の事業を行い、5837人が参加。昔ながらの手作業でもち米、みどり糯、黒米、赤米を栽培した。</li> <li>・畑では週2回の体験作業を実施。7～9月は暑さ対策で30分前倒し、9時30分～11時30分で活動した。</li> <li>・雑木林では7時～9時に早朝草刈り大作戦を全5回実施。炭焼き26回実施。下草刈り18回、間伐・除伐を16回実施。</li> <li>・定例自然観察会は11回、夜の里山生きもの探検1回、バードウォッチングを3回実施。</li> <li>・特定外来種防除は12回活動。</li> <li>・親子自然教室は11回、こども谷戸教室は11回活動。</li> <li>・谷戸学校は49回活動。</li> <li>・自然学校～やとひと未来～12回開催。</li> <li>・米作り体験として保育園、幼稚園、小学校、支援学校等6教育機関以上を受け入れた。</li> </ul>	◎	夏季の高温対策として、畑作業の夏時間を設定し作業時間を早めた。雑木林も早朝草刈りを梅雨時から雨の少ない8月へ移動。ボランティアが活動しやすいよう改善した。
業務運営2 (事業計画書様式2：管理運営体制、人員の配置と研修計画)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した人員の配置</li> <li>・計画した研修5回の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画した人員を配置し、遅滞なく指定管理施設の管理運営を実施した。</li> <li>【外部研修】</li> <li>・公園樹木点検研修：こども自然公園(6/1)</li> <li>【内部研修】</li> <li>・保全管理計画フォローアップ研修：水生生物(6/13、10/4)</li> <li>・夜間灯火観察調査①4/23、②8/27、③11/21 内部研修を行った。生きものに詳しいボランティアの協力を得て定時・定点観測(No.14 田んぼ)で蛍光灯とブラックライトに飛来する昆虫の観察、記録、同定を実施。</li> <li>・舞岡公園生態系保全実践講座を9月開講し月1回、計7回実施。里山保全を座学と実習で学んだ。</li> <li>・休館日に事務局員で防災訓練を実施。</li> </ul>	◎	保全管理計画フォローアップ研修への参加により、公園内で生息する希少なトンボへの理解を深めた。トンボ種類毎の特性に合わせた環境整備についてのレクチャーを受けたことにより、日々の維持管理の中での必要な作業が明確になったので、次年度以降の整備に活かしていく。
業務運営3 (事業計画書様式3：利用者サービスの向上)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度調査：一般来園者対象3回、イベント参加者対象10回以上</li> <li>・事務所に「ご意見箱」、古民家に「古民家ノート」を設置：通年</li> <li>・日頃作業に参加している登録ボランティアの声を聴く場として「田んぼ交流会」：2回、「雑木林のつど</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・満足度調査 一般来園者対象：通年。イベント参加者対象：19回、満足度100%</li> <li>・ご意見箱：通年。古民家ノート：5月～設置再開</li> <li>・夏の田んぼ交流会：1回実施</li> <li>・会報「舞の里だより」：紙ベースで登録ボランティア、近隣自治会、公共施設に配布(配架)。公式HPには通常版とウェブアクセシビリティを考慮した音声読み上げ対応版を掲載。</li> <li>・落雷などの電話回線不具合による固定電</li> </ul>	◎	落雷による電話回線破断により、地中ケーブルの回線が最後の一本となった。今後、電話回線に不具合が起きた時のために、どの通話環境が整備できるかを模索中(NTTの調査は年度内に実施済)。

舞岡公園自然体験施設 令和5年度 事業報告書

<p>利用促進策)</p>	<p>い)：1回 ・会報「舞の里だより」は、ウェブアクセシビリティを確保する：年間 11 回</p>	<p>話不通時、及び夜間・休館日・緊急連絡対応として携帯電話（1台）を設置。HPにて必要に応じ電話番号を公表した。</p>	
<p>業務運営 4 (事業計画書様式 3：広報・プロモーションの取組)</p>	<p>・会報「舞の里だより」年間 11 回発行 ・広報よこはま戸塚区版・港南区版・栄区版にイベント情報掲載 12 回 ・公式ホームページ随時更新 ・公式ホームページブログ週 1 回以上、年間 50 回以上更新 ・掲示板にイベントのお知らせや参加者募集、観察会報告、生きものに関するお願いや各種啓発ポスターを随時掲示 ・英語版・韓国語版の舞岡公園概要を随時提供 ・園内で見られる「樹木と野草のしおり」「野鳥とのであい」随時提供 ・開園 30 周年記念冊子「ようこそ舞岡公園へ」随時提供</p>	<p>・会報「舞の里だより」年間 11 回発行 ・広報よこはま戸塚区版・港南区版・栄区版にイベント情報掲載 12 回 ・公式ホームページ随時更新 ・公式ホームページブログ週 1 回以上、年間 50 回以上更新した ・掲示板にイベントのお知らせや参加者募集、観察会報告、生きものに関するお願いや各種啓発ポスターを随時掲示した ・英語版・韓国語版の舞岡公園概要を随時提供 ・園内で見られる「樹木と野草のしおり」「野鳥とのであい」随時提供 ・開園 30 周年記念冊子「ようこそ舞岡公園へ」随時提供</p>	<p>◎</p> <p>・舞岡公園公式 HP のトップページを活用し、最新のイベント情報を掲載。雨天中止など、直近のお知らせ媒体としても利用した。今後もより充実させるよう努める。 ・一部のイベントについて、HP で WEB 抽選受付を実施。電話・来館先着受付と併用したが、人気のイベントでは抽選を希望する方が多いため、来期は WEB 受付の割合を多くする。 ・WEB 受付のイベントに於いて、抽選の結果をメール送付する際に誤って CC で送ってしまった。ミス二度と起こさない為、メール送付の際にはダブルチェックを必ず実行する事を、事務局全員で改めて徹底した。</p>
<p>業務運営 5 (事業計画書様式 3：市民協働、市民主体の活動の支援、地域人材育成)</p>	<p>・ボランティア登録数:300 家族 ・水車廻し隊:20 回 ・古民家燻蒸:週 2 回以上、年間 200 回以上 ・舞小谷戸屋製品作り:随時 ・休日谷戸番:農繁期を中心に 8 回以上 ・会報「舞の里だより」発送折りっこ 11 回 ・薪割り 20 回 ・竹炭焼きボランティア炭焼 3 回 ・田んぼネット繕い 8 回 ・外来種防除隊 15 回 ・みち草 24 回 ・やっとな CO 4 回 ・生物記録 随時 ・農具の点検修理 20 回 ・わら縄作り 10 回 ・舞岡公園弥生田んぼ復元プロジェクトへの協力 20 回以上</p>	<p>・ボランティア登録者数実績：410 家族 ・水車廻し隊：27 回活動 ・舞小谷戸屋製品作り：随時活動 ・休日谷戸番：12 回活動 ・会報「舞の里だより」発送折りっこ：11 回活動 ・薪割り隊：16 回活動 ・竹炭焼き：9 回活動（竹炭焼き・窯修理） ・田んぼネット修理：10 回活動 ・外来種防除隊：13 回活動 ・みち草：11 回活動 ・やっとな Co：5 回活動 ・生物記録：随時情報等受取り、年 2 回情報交換会実施 ・農具点検修理等維持作業：24 回活動 ・わら縄作り：12 回活動 ・舞岡公園弥生田んぼ復元プロジェクト：25 回活動</p>	<p>◎</p> <p>・今年度も 400 家族以上が登録し、田んぼを始め各種活動を行った。 ・水車廻し隊は、小学校の古民家見学を中心に活動。「昔の暮らし」の学習に来園した小学生に、玄米を水車の力で精米する様子を実践しながら説明。教師からの要望も多いので、ボランティアの協力を得て回せる日を増やしていきたい。 ・R5 年度は近隣の自治会へ広報活動を行った。農閑期の 1 月、3 月に「ボランティア説明会」を 4 回実施。ボランティアの裾野を広げるべく、次年度以降も継続実施する。</p>

<p>業務運営6 (事業計画書様式 3:市の施策への協力)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント時、マイ箸と器の持参呼びかけ:2回</li> <li>・木酢液、竹酢液販売のリサイクル瓶使用100%</li> <li>・小学生対象環境学習の受入れ:年4回以上</li> <li>・市内中小企業への優先発注:100%</li> <li>・外来種(動物)防除活動:アライグマ・ウツガ・エル・アメリカザリガニ・アカミミガメ(通年自主防除)、タイワリス・ハビシシ(市の計画防除に協力)</li> <li>・外来種(植物)防除:通年実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マイ箸・器:「舞の里だより」や、担当指導員から持参呼びかけ(こども谷戸まつり、収穫祭、ポランテア炊出し)</li> <li>・リサイクル瓶活用:100%。一度販売した木酢液瓶のリターナルも受入実施</li> <li>・幼稚園対象環境学習:2回実施</li> <li>・小学生対象環境学習:14回実施</li> <li>・大学生対象環境学習:5回活動(みずき休憩所の雑木林手入れと観察)</li> <li>・市内企業優先発注:コピー用紙などの文具、竹、杭などの購入は戸塚区の企業を利用</li> <li>・保全管理計画に基づき、不耕起冬期湛水田を設置し、生物多様性に配慮した取り組みを進めた</li> <li>・生物多様性部門の活動として、ホタル生息数調査を5月下旬から実施(期間中週1回、定点定時目視観測):10回</li> <li>・舞岡公園の保全管理の担い手を育成する講座「生態系保全実践講座」を月1回2コマ(座学・実習)開講(14回:193人)。</li> <li>・近隣小学校の全校落ち葉かき体験活動に協力した。</li> </ul>	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・飲食を伴うイベントが本格的に復活し、4年のブランクの重さを実感しつつ、過去の資料を参考に開催した。久々の開催を待ち望んでいた来園者から、歓迎の声を多数頂いた。</li> <li>・教育機関からの環境学習への参加希望が増加した。外来種防除、落ち葉かきなどの里山整備活動や、自然観察会など、要望に応じて協力していく。</li> <li>・生態系保全実践講座を開講。多くの参加者が舞岡公園の生態系に着目し、識者からの座学や実習も行いながら学ぶ好機となったので継続する。</li> </ul>
<p>業務運営7 (事業計画書様式 4:文化・自然体験施設の魅力を高める施設・園地管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・古民家床の間に季節に合った子どもの書初め作品展示:12回</li> <li>・旧金子家の資料展示、農具・生活用具の展示と分かり易い説明:通年</li> <li>・季節に応じて農作物や干し柿等で里の風情情緒的展示:5回</li> <li>・地域に根差した季節の伝承行事:8回</li> <li>・谷戸の原風景を活かした農文化体験事業:20回以上</li> <li>・体験畑園路沿いに近隣小学校1年生とコスモス、ヒマワリの種まき実施</li> <li>・田んぼの内、古代米(実とらず米、黒米、赤米、ミドリモチ)の年間耕作:5枚</li> <li>・田んぼの内、冬季湛水田の年間耕作:3枚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども書初め作品展示:12回</li> <li>・旧金子家資料展示、農具生活道具展示と説明:通年実施</li> <li>・季節に応じた里の風景情緒的展示:古民家前庭・小谷戸広場に鯉のぼり設置、古民家に五月人形展示、6月末～七夕飾り設置、秋～冬田んぼに藁ボッチ設置、9～11月案山子展示、12月下旬～注連縄、門松、鏡餅設置、1月繭玉飾り、2月節分豆まき、3月ひな人形飾り、まい作品展春・秋各1回実施</li> <li>・地域に根差した季節の伝統行事:花見茶屋(みどり糯・黒米・もち米の三色団子、甘酒)、古民家すす払い、障子張り、肝試し、里山の暮らし体験、お月見会を実施。</li> <li>・谷戸の原風景を活かした農文化体験事業:収穫祭、田植え体験、稲刈り体験、わら細工(亀作り・わら草履・鍋敷き・正月飾り)、竹細工(水鉄砲・けん玉・花器・ミニ門松・竹コマ・和凧)、茶摘み、茶摘みと手もみ茶作りを実施。</li> <li>・体験畑園路沿いヒマワリ・コスモス種まき:南舞岡小1年生</li> <li>・古代米耕作:実とらず米、黒米、赤米、みどり糯田んぼ7枚で実施</li> <li>・冬季湛水田の年間耕作:3枚で実施</li> <li>・環境省の「モニタリング1000里地調査」へ登録し、調査実施。対象:虫・蛙・哺乳類</li> </ul>	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・里山の暮らし体験を一泊の宿泊体験として実施。古民家に泊まるという舞岡公園ならではの貴重な体験を、次年度も実施する。</li> <li>・収穫祭は137人ものボランティアとスタッフの協力を得て開催した。来園者は1200人(推定)。好評を得て、次年度も実施する。</li> <li>・田植え体験、稲刈り体験はどちらも100人の抽選申込だったが、定員をはるかに超える申込があった。web受付を継続して実施する。</li> </ul>

<p>業務運営 8 (事業計画書様式 4:施設(建物等)、設備の維持管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古民家燻蒸:月 5 回以上</li> <li>納屋の燻蒸:月 1 回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古民家燻蒸:190 回実施</li> <li>納屋燻蒸:31 回実施</li> <li>「水車小屋」では、稼働時に事故防止のため担当者を複数(最低 3 人)配置し、来園者への説明と設備の点検・清掃・衛生管理を行う。</li> <li>管理棟は、来園者に対する総合案内所的役割と市民の体験活動拠点として維持管理・活用を行う。</li> <li>作業棟は、鍬・鎌・田んぼ足袋・安全靴・その他各種作業用具等の置場と、作業体験者の更衣ロッカーとして活用する。刃物等は安全管理を徹底し作業用具は毎日、建物内外の整理整頓・清掃を行う。</li> <li>炭焼き小屋使用時は現場にスタッフが常駐し、火気管理を徹底する。その都度整理整頓・清掃を行う。</li> </ul>	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>葺き替えたばかりの古民家屋根を維持すべく、燻蒸回数は R5 年度と同等を目指す。納屋の燻蒸は事務局の維持作業の枠組みで実施する。</li> <li>鍬、鎌、シャベル、安全靴等のメンテナンスは、引き続きボランティア主体で行い、必要に応じて外注した。</li> <li>古民家土間や作業棟前の軒下等、傷みやすい箇所は都度荒木田土を叩き込み補修を行った。</li> <li>園路際の柵は日々点検し、補修の必要な場所は早急に対応した。</li> <li>鉄板屋根の発錆(ポンプ室・電気室・水屋・舞小谷戸屋)あり。早期の塗装が必要。</li> <li>各所の土間の補修。</li> <li>古民家の簡易舗装補修。</li> </ul>
<p>業務運営 9 (事業計画書様式 4:樹木、植栽等の管理)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹林の間伐:2 回</li> <li>雑木林の間伐、除伐:20 回以上</li> <li>雑木林の下草刈り、落ち葉かき:10 回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>竹林の間伐:竹の子採取、真竹、孟宗竹の間伐実施(納屋への陽当たりを確保するための間伐も含む)</li> <li>雑木林の間伐・除伐および椎茸櫓木一連作業:20 回実施</li> <li>倒木落枝の恐れがある園路際の樹木を伐採</li> </ul>	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>竹林間伐として、不必要な場所に生えた竹の子は採取し、来園者に販売した。</li> </ul>
<p>業務運営 10 (事業計画書様式 4:巡視・清掃)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古民家の開放、清掃、点検:毎日</li> <li>納屋、情報館、水車小屋、瓜久保の家の巡視、点検、清掃:毎日</li> <li>管理棟、作業棟の整理整頓、清掃:毎日</li> <li>作業用具の点検、修理、破棄、補充:年1回以上</li> <li>窓ガラス拭き、雨樋、排水桝等を含む大掃除:年1回以上</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>古民家開放、清掃、点検:毎日実施</li> <li>納屋、情報館、水車小屋、瓜久保の家の巡視、点検、清掃:毎日実施</li> <li>管理棟、作業棟の整理整頓、清掃:毎日実施</li> <li>作業用具の点検修理、破棄、補充:都度実施</li> <li>窓ガラス拭き、雨樋、排水桝等を含む大掃除:雨樋は各台風通過前に都度清掃実施。窓ガラス拭き、排水桝は年末大掃除の際実施</li> <li>来園者の安全対策及び動植物保全のため、各種柵や杭の設置と点検補修を日常管理として行った。</li> <li>巡視中の外来種防除:毎日実施</li> </ul>	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来動物(ウシガエル、アメリカザリガニ)、外来植物の防除に次年度も注力する。</li> </ul>
<p>収支 (事業計画書様式 7:収入確保、経費節減策)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理上発生した資源の加工品販売:通年</li> <li>市民から古民家展示品等の無償提供受入れ:随時</li> <li>経済支援(寄附金)の受入れ</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理上発生した資源の加工品販売:通年実施(竹細工、わら細工、木炭、竹炭、もみ殻、もみ殻燻炭、木酢液、稲わら、麦わら細工等)、竹間伐(竹の子発生の都度販売)</li> <li>市民からの展示品等無償提供受け入れ:都度実施(鋸、着物、浴衣、草履、火鉢等)</li> <li>小谷戸屋製品作りボランティアの募集を呼びかけ、希望者には製品作りを一人でできるように繰り返し指導した。</li> </ul>	<p>◎</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>維持管理上発生した資源の加工品販売はボランティアの創意工夫により新しい製品も販売し好評。</li> <li>製作ボランティアに携わる方も増えベテランから新人への伝承も行っている。</li> <li>市民からの無償提供で古い農具や和服を受入れた。</li> </ul>